

令和7年度 学校関係者評価委員会 議事録（1回目）

実施日：令和7年6月24日（火）10：00～12：00

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティー専門学校 2階A教室

出席者：委員 池山英一（アリアーレビューティー専門学校 校長）

熊谷美咲（平成31年度卒業生）

市川大介（指吸会計センター㈱ 名古屋支店 リーダー）

田口 豊（愛知県理容生活衛生同業組合 副理事長）

梅崎 美和（㈱セイファート 東海プランチ シニアマネージャー）

順不同

欠席者 中川信子（名古屋ウエディング＆フラワー・ビューティ学院 校長）

オブザーバー

森山郁子（アリアーレビューティー専門学校 事務主任）

山口 孝（アリアーレビューティー専門学校 広報主任）

高橋秀典（アリアーレビューティー専門学校 教務主任）

委員会次第（概要）

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 理容科・美容科R7.4.1現在 学生数報告
- (4) 令和6年度自己評価の報告
- (5) 令和6年度学校関係者評価委員による評価まとめ
- (6) その他意見交換

各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見やご指導を頂いた。

（詳細は後記のとおり）

（9）閉会

終わりに、校長から令和7年度は第2回目を令和7年11月～12月に行う予定である旨の報告。また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

次第に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を含め、次のような貴重

なご意見を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○田口 豊 委員

留学生の就職はどのような感じなのでしょうか。サロンのお客さま及びそのお知り合いで外国人の方がいらっしゃり、理美容の学びはどうなのかと質問されることもあります。港区で中学校の校長を務めている方から、学校に外国籍の生徒が多くいるとの事。業界ではインバウンド集客に力を入れようとしているが、まずは外国人就労を解決しないと集客につながらないと思っています。外国人スタッフがいると、外国人客も当然入りやすいでしょうし、もう様々な分野で働いている外国人をよく見ます。

(学校側) : 留学生クラス (トータルプログラム科) は理容師・美容師国家試験を目指すクラスではないので、就職先はホテルや工場、飲食店等さまざまです。あと、本人の母国等での学歴も就職先が決まる上で影響します。在留資格はほとんどの留学生が「技術・人文知識・国際業務」で就職します。学校の目標としては、入学時点では外国人美容師になるために必要な日本語能力試験N2をほとんど持っていないので、まずは週2回日本語の授業があるトータルプログラム科で技術を楽しみながら知り、2年後理容科・美容科に進学され免許を目指してほしいと思っています。ただ外国人理容師は制度が存在しないので美容科進学が基本になります。中学校にも多くの生徒がいるということは、その保護者に永住権等、よりしっかりした在留資格があると思われます。就労制限がなかつたりするので、ぜひ理容師という道も目指してほしいと思います。

○市川大介 委員

財務の項目で修繕の話が出ましたが、当然修繕には財源が必要になります。積み立てていく必要もあるし、他に使えないように拘束していく必要もあります。留学生のところですが、2年生が36名で1年生が7名という事なので、来年は36名入学させないといけないという事でしょうか。収益事業や特別班も計画中との事ですが、実態はどのような状態なのでしょうか。

(学校側) : 保守修繕等に関しましては、中長期計画としてきちんと立案していかないと

いけないと思っております。2025.4入学生アンケートにおいて本校への入学を決意させた「最も魅力的なこと」として設備面を選んだ比率がとても低く6.7%しかない。老朽化だけでなく、魅力的な設備も考えた上で計画を立てる必要があると思っています。留学生クラスの入学ですが、総定員が40名（1学年20名）で現在でも超過しております。監督官庁と相談して入学させており問題はないですが、コロナ禍における入国制限が大きく、ちぐはぐな在籍者数になっております。入学定員自体は20名なのでその辺りの生徒数は確保する必要があります。現在在校生やそれ以外の一般の方も受講できる「公開講座」があるのですが、ゆくゆくは土日や夜間等を想定した広がりができるといいなと思っていますが、マンパワーが足りず、まずは人材確保から考えないといけないと思っています。

○熊谷美咲 委員

学園新聞に9月開催の理美容甲子園の話題や選手名の掲載がありましたが、私も6年前にカットで出場しました。サロン勤務を通じて思うのですが、大会に結果を残すのも大事ですが、経験したことが今に生きていると感じます。ただ結果を残すと競技が楽しくなってくるので、卒業してからも続ける方が増えると思います。学生時代の競技経験から学校に要望するのは、他校のレベルがわからなかつたのでどのくらい練習が必要かわからなかった。もっと競技会を通じた他校との交流も検討するといいと思います。

（学校側）：愛知県内の各種競技大会も数が減って、アリアーレが学生大会以外で他校も交えた競技会に参加するのがなくなってしまいました。少人数制の学校ゆえ、内弁慶にならないよう積極的に外に出向く必要はあると思いますし、理容科に関してはアリアーレの方から他校に声掛けをしたり、主催者の都合もあるかと思いますが、働きかけをしていきたいと思います。

○梅崎美和 委員

広報に関してSNSの運用面の話が出ましたが、SNSを外部委託したり等運用面で大変なことはよく耳にします。何か改善策等はお考えなのでしょうか。

（学校側）：高校生はさまざまな検索をインスタで行っているのが主流であり（TikTokなどと中学生）、そこに向けての情報発信は今まで仕組みとして機能していなかったのですが、今年5月からは毎日投稿（月曜日は事務、火曜日から金曜日は理容

科・美容科）する形がようやく整いました。今はまだ、とにかく投稿するクセをしっかりつける段階で中身に関しては特段取り決めがないのですが、オープンキャンパスへの集客のためという目的はしっかり持つて、中身等も常に見直しを図っていきます。入学者アンケートで、アリアーレをはじめて知ったきっかけは何ですかという問い合わせにトップが「親・その他の家族」の36.7%で、SNSが0%でした。さらなる認知度アップを考えていきます。

以上

記録：山口

令和7年度 学校関係者評価委員会 議事録（2回目）

実施日：令和7年12月2日（火）10：00～12：00

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティー専門学校 2階A教室

出席者：委員 池山英一（アリアーレビューティー専門学校 校長）

熊谷美咲（平成31年度卒業生）

市川大介（指吸会計センター株 名古屋支店 リーダー）

田口 豊（愛知県理容生活衛生同業組合 副理事長）

梅崎 美和（株）セイファート 東海プランチ シニアマネージャー）

中川信子（名古屋ウエディング＆フラワー・ビューティ学院 校長）

順不同

オブザーバー

森山郁子（アリアーレビューティー専門学校 事務主任）

山口 孝（アリアーレビューティー専門学校 広報主任）

高橋秀典（アリアーレビューティー専門学校 教務主任）

委員会次第（概要）

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
- (3) 令和7年度上半期活動報告
- (4) その他意見交換

各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見やご指導を頂いた。

(詳細は後記のとおり)

(5) 閉会

終わりに、校長から令和8年度も引き続き会議へのご出席を賜りたい旨の依頼。

また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

次第に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を含め、次のような貴重なご意見を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○田口 豊 委員

8月26日のオープンキャンパスは全理連からの要請もあり、小中学生向けのイベントを学校とともに企画、講師会メンバーが2名直接お手伝いさせていただきました。1回だけではダメで、続けないといけないと思っています。離職率に関しては、サロン・学校・本人の3者がうまくかみ合わないと解決しない。サロンの受け入れの理解・体制が重要。競技会は年齢に関係なくがんばれるが、費用がかかる。主催者からの補助があるものもあるが、賞に対する賞金はない。

(学校側) : 業界の魅力発信に関しては、業界団体が関心を持ち実施しないと本当の良さは伝わらないので、ぜひ来年も計画され、人と費用をお互いに確保していかなければいいなと思います。来週に千石小学校の2年生児童が、来月1月15日は志段味中学校2年生生徒が来校されます。若い方へのキャリア教育は浸透しており、すぐ入学にはつながりませんが、できる限りの受け入れはしています。競技会ですが、先般 神戸市の全国理容競技大会に学生同伴で行ってきました。美容の方は賞金が出ています。選手のモチベーションにも多少影響があると思うので、ぜひ理容もご検討ください。また自サロンの都合等もあると思いますが、やはり競技会は土曜日、日曜日に開催し市中の皆さんに業の魅力を伝える工夫をされると一層大会が映えると思います。

○市川大介 委員

自立に向けての話の中で、社会人としての勉強、ビジネスマナーの充実が必要だ

と思います。学生と社会人との間、学生感覚が抜けない中で就職先も大変だと思います。財務会計の管理の中では、余力の中で昼間生の学生確保に向けた取り組みに活用する等の余地があると思います。

(学校側) :多くの専門学校がマナー教育を行っており、大学では学べない、即戦力に向けた授業ではあると思います。昼間生募集に関しては、理容科・美容科のカリキュラムの充実や広報の工夫の中にも、新しい仕組み作りを考えたり、募集の幅を広げることも大事だと思いますし、アリアーレの成長戦略とは何かを見いだせるようにしたいと思います。

○熊谷美咲 委員

離職率の話が出ましたが、人間関係より働いてみて最初の3年がピークで思い描いていた理想とちがうと離職につながる。最低限の知識があり、自分の物事の先にはお客様がいることを伝える必要がある。辞めてからアイリスト等国家資格を活かせるところに就職や自営を始める人が多い。競技会に関してですが、従業員は100%コンクールに参加しているが、時間とお金がかかり、また選手が少ないと余計にコストがかかる。

(学校側) :離職については、業界を去ったり、他店に行ったり、独立したりと色々あるのでしょうか、免許を活かしてくれるといいなと思います。サロン先でも競技会に参加するという事は、サロンワークに必要という事になります。おっしゃられるように心身とも大変だと思いますが、サロンでの仕事が学校での学びに繋がるので、せひがんばってください。

○梅崎美和 委員

競技会についての話が出ていますが、何でもいいので学生時代に打ち込めるもの、何かにしっかりと向き合い経験があるかないかは大きいと思います。大会も個人ではなく団体戦という認識で、みんなのモチベーションが上がりチームワークを醸成していく。卒業する時その経験がどんなプラスになるのか、経験者はちがうよねというのが入学する目的にもなる。大会となると不器用な人が不安になるので、だれでも参加できる雰囲気が大切だと思います。離職についてですが、多業種に比べて高いとも低いとも言えませんが、働いてからのギャップが少なくななるよう社会人になる前の訓練、自立に向けた取り組みが必要。現在、専門学校で

そのような取り組みのお手伝いを2校行っている。本人・保護者を交えた就職説明会を1年生の秋～冬にしている。保護者は業界について知らない。人間性の重視を伝える。学校はきちんと説明している。やっていないのは本人だということになっていく。初めは保護者の参加者が2名と少なかったが全体の3分の1まで増えた。保護者の背中を押すことが大事だと思います。

(学校側)：退学率でも就職でも学びや成績も、もっと保護者を巻き込んでいく事が重要であると思います。入学者説明会では、学校は団体生活なので家庭でのしつけを学校に持ち込まないでと伝えています。

○中川信子 委員

弊校でも学校関係者評価をやっていますが、第三者評価もやってみようとは思いますがどうなんでしょうか。離職率の話がありましたが、3年で35%なら特段他業種より高いとは思いません。受け入れ側の考えも充分聞かないとミスマッチで離職率が高くなる。東京のグランドヒルズが毎年求人依頼に来校されますが、説明がしっかりしている。技能五輪等選手の育成・練習は先生に依るところが大きいです。（ジャパンカップの先生が指導している）毎年五輪は参加しており、協会から依頼があってプロの目線で解説の監修をしました。大会等は1つのレベルアップの良い機会で、大変なんだけどそれを目的に入学する生徒もいる。

(学校側) 理美容の競技大会も参加者が減っています。技能五輪で言えば、理容で言えば年前は約30名いましたが、今回は9名。美容で言えば同約50名いたのが今年は10名です。技能五輪でフラワー装飾の競技解説を安城農林高校が、解説の監修を貴校が行っており、学校がしていることにびっくりしました。職業実践専門課程は5年後の令和13年度から第三者評価制度の実施義務の方向性が議論されていますが、小規模校が多い専門学校にとってはハードルが高い話だと思います。愛専各さんの立ち位置は今後どうするのか、気にかけていきたいです。

以上

記録：山口